



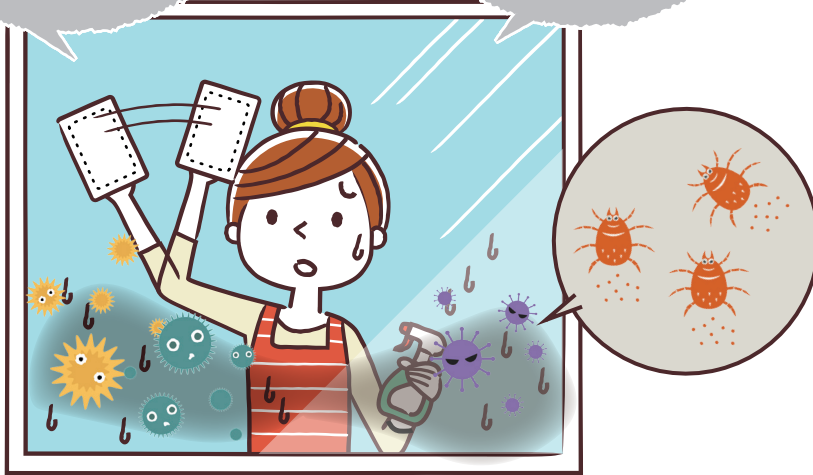
テーマ

カビやアレルギーの原因！

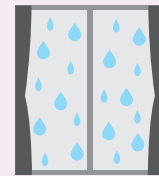
窓の結露を防ぐポイント

冬になると
窓が結露して
掃除も大変！

子どもの
アレルギーも
心配だわ



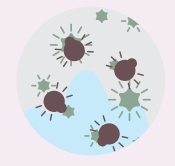
結露を放っておくと…



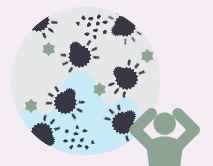
1. ビショビショの窓だと…



2. 湿気でカビが生える



3. 好物のカビをもとめてダニが集まってきて…

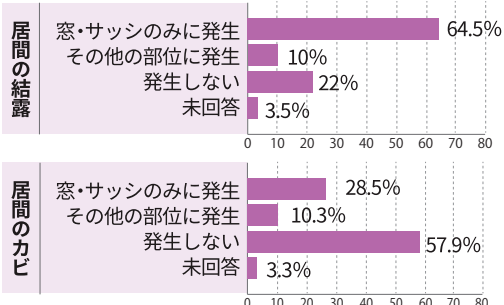


4. ダニの死骸やカビの胞子がアレルギーの一因に

寒い日に窓に結露が発生することはありますか？結露をそのままにしておくと、この水滴により湿気を好むカビやダニの繁殖が促され、アトピー性皮膚炎や気管支喘息、鼻炎といったアレルギー疾患を引き起こしてしまうことも。とはいえ、毎日お掃除するのも大変ですね。お手入れの手間と嫌な結露を軽減するポイントをみていきましょう。

結露が一番多く発生する部位は、「窓」や「サッシ」。

居間の結露とカビの発生割合



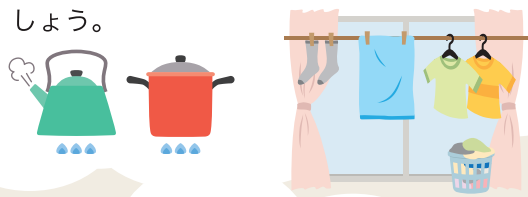
左のグラフによると、窓・サッシで結露が多く発生しています。部屋の中は暖房で暖かっても、窓の断熱性が低い場合、外気によって冷やされた窓ガラスやサッシが、室内の空気と触れることで空気中の水分が水滴となる「結露」。室内で洗濯物を干す時や、加湿をし過ぎて空気中の水分量が多い場合、結露は発生しやすくなります。結露がカビの原因となるケースは、割合にしておよそ半数程度。カビやダニは健康リスクにつながるおそれがあるため注意が必要です。

しっかり対策で 結露のストレスを軽減

結露を軽減するには、まずは適切な湿度を保つこと。そして、窓の断熱性を高めること。結露が軽減されることでカビやダニの発生も抑えられ、お掃除の手間もラクになります。

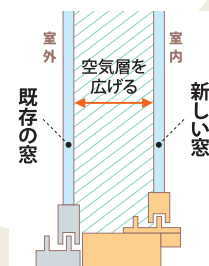
しっかり換気

室内の湿度や温度が高い場合は、結露が発生しやすい状況です。料理中や洗濯物の室内干し中は換気扇をつけたり窓を開けたりして、室内にこもった湿気を外に逃がしてあげましょう。



しっかり断熱

窓の断熱性を高めることで、窓やサッシの結露も軽減します。二重窓にすると空気の層が生まれて断熱性が高まり、また高断熱のガラスを選択することでより断熱効果や暖房効率もアップするのでおすすめです。



しっかり除湿

クローゼットや押し入れなど、狭くて湿気がこもりやすい場所では除湿機や除湿剤を使って室内の湿気を吸い取る方法もあります。室内の余分な湿気を減らすことができれば、結露しにくくなります。



結露を軽減して
快適な暮らしを!



パッと手軽にできる、窓の断熱リフォームはこちら！



二重窓をつけた時の効果はこちら▶



断熱内窓 (二重窓) インプラス

今ある窓の内側に新しい窓を取付けるだけ。1窓最短 1時間のスピード施工で断熱性がアップして、結露も軽減します。

【ガラス選びもポイント】
「高断熱 Low-E ガラス」に替えれば、さらに暖かく

1窓あたり
約 1時間～



取替窓 リプラス

古い窓がたった半日でゆがみのない開閉スムーズ・快適な窓に。壁を壊さず、足場も組まず、室内作業のみで施工完了。すきま風や寒さのお悩みも解消します。

1窓あたり
約 半日～

お問い合わせはお気軽にどうぞ！



12月号のテーマ

カビやアレルギーの原因！窓の結露を防ぐポイント

寒い季節に発生しやすくなる結露。放っておくとカビやダニの繁殖が促され、アレルギーなどの要因にも。結露しやすい窓やサッシの説明をして、窓の断熱リフォームのご提案に繋がってください。

こんな方におすすめです！ 窓の結露でお困りの方、カビやダニなどが原因の健康リスクが心配な方

アプローチポイント

窓に結露が発生しやすい場合、放っておくと健康リスクがあることをお伝えしましょう

トーク例



リフォーム店様
ビルダー様

寒い日に結露が発生することはありますか？結露が一番多く発生するのは、「窓」や「サッシ」。外気によって冷やされたガラスやサッシが、室内の空気と触れることで空気中の水分が水滴となる「結露」。室内で洗濯物を干す時や、加湿で室内の水分量が多い場合はより発生しやすくなり、結露を放っておくとカビやダニの繁殖が促され、アレルギー疾患などを引き起こしてしまうことも。とはいえ、毎日お掃除するのも大変ですよ。

対策ポイント

結露対策のポイントをお伝えして窓の断熱リフォームをご提案しましょう

トーク例



リフォーム店様
ビルダー様

結露を軽減するには、まずは適切な湿度を保つこと。料理中や洗濯物の室内干し中は換気扇をつけたり窓を開けたりしてしっかり換気して室内にこもった湿気を外に逃がしてあげましょう。クローゼットや押し入れなど、湿気がこもりやすい場所は除湿機や除湿剤でしっかり除湿するのもポイントです。また、結露しやすい窓を二重窓にして空気の層を作り断熱性を高めたり、高断熱のガラスを選択してしっかり断熱すると窓やサッシの結露も軽減します。お掃除の手間も減り、カーテンや壁紙のカビや、カビやダニによるアレルギーなどの健康リスクも軽減します。窓の断熱リフォームは1日でパッと手軽にでき、暖房効率もアップするので、この機会にぜひご検討ください。

「健康・快適は窓から」知って得する
すまいの健康・快適だより 12 2020 DECEMBER

テーマ カビやアレルギーの原因！
窓の結露を防ぐポイント

冬になると窓が結露して掃除も大変！
子どものアレルギーも心配だわ

結露を放っておくと...

- 1 ビツビツの水滴が窓にたまる
- 2 水滴でカビが広がる
- 3 子どもの鼻をよめてダニが繁殖して
- 4 ダニの糞やカビの胞子がアレルギーの一因に

寒い日に窓に結露が発生することはありませんか？結露をそのままにしておくと、この水滴により湿気を好むカビやダニの繁殖が促され、アトピー性皮膚炎や気管支喘息、鼻炎といったアレルギー疾患を引き起こしてしまうことも。とはいえ、毎日お掃除するのも大変ですね。お手入れの手間と嫌な結露を軽減するポイントをみていきましょう。

結露が一番多く発生する部位は、「窓」や「サッシ」。

| 場所 | 発生割合 |
|------------|-------|
| 窓・サッシのみに発生 | 64.5% |
| その他の部位に発生 | 35.5% |
| 発生しない | 0% |

左のグラフによると、窓・サッシで結露が多く発生しています。部屋の中は暖房で暖かっても、窓の断熱性が低い場合、外気によって冷やされた窓ガラスやサッシが、室内の空気と触れることで空気中の水分が水滴となる「結露」。室内で洗濯物を干す時や、加湿をし過ぎて空気中の水分量が多い場合、結露は発生しやすくなります。結露がカビの原因となるケースは、割合しておおよそ半数程度。カビやダニは健康リスクにつながるおそれがあるため注意が必要です。

おすすめ対策は裏面へ！

しっかり対策で 結露のストレスを軽減

結露を軽減するには、まずは適切な湿度を保つこと。そして、窓の断熱性を高めること。結露が軽減されることでカビやダニの発生も抑えられ、お掃除の手間もラクになります。

しっかり換気
室内の湿度や温度が高い場合は、結露が発生しやすい状況です。料理中や洗濯物の室内干し中は換気扇をつけたり窓を開けたりして、室内にこもった湿気を外に逃がしてあげましょう。

しっかり断熱
窓の断熱性を高めることで、窓やサッシの結露も軽減します。二重窓にするなど空気の層が生まれ断熱性が上がり、また高断熱のガラスを選択することでより断熱効果や暖房効率もアップするのでおすすめです。

しっかり除湿
クローゼットや押し入れなど、狭くて湿気がこもりやすい場所では除湿機や除湿剤を使って室内の湿気を吸い取る方法もあります。室内の余分な湿気を減らすことができれば、結露しにくくなります。

結露を軽減して快適な暮らしを！

パッと手軽にできる、窓の断熱リフォームはこちら！

今ある窓の内側に新しい窓を敷き足すだけ。
1窓最短1時間のスピード施工で断熱性がアップして、結露も軽減します。
【ガラス交換もポイント】高断熱Low-Eガラスに交換すればさらに断熱。

断熱内窓（二重窓）インプラス
1窓あたり 約1時間～

古い窓がたった半日でもがみのない断熱スチームで快適な窓に。壁を壊さず、足場も組まず、室内作業のみで施工完了。すき間や変色のお悩みも解消します。

取替窓 リプラス
1窓あたり 約半日～

お問い合わせはお気軽にどうぞ！

supported by PATTO リクシル マド本舗

チラシと合わせて今月のPATTOリフォーム提案にご活用ください！